

無党派！市民派！市民の為に！^{せい どう} 正道の会

中村 しんさく 政策編

「シンサク」と呼んでください！



2003年～市議会議員中村哲夫の政策編集及び事務サポートを行い、このたび「正道の会」の代表に。

[プロフィール]
・1968年生 ・第二小、佐野中、和泉高 卒業
・日本酒専門店 中村酒店経営・家族：父、母、妻、長女(中2)

無党派市民派への思い

当時財政破綻寸前だった泉佐野。市議会に父が58歳で出馬表明。家族は大反対、それでもやりたいという父に、私が求めたことは国政政党からの推薦を断わり広く市民の問題に取り組むこと。定数3名に10名が立候補する凄まじい選挙を、一人一人の皆さまのお力添えで、結果自民、共産に次ぎかろうじて当選させて頂きました。

「政治とカネ」私達の価値観も皆さまと一緒にありたいと思います。

無党派議員を家族でサポートしてきました。私達家族のこだわりは「献金や選挙活動への寄付を辞退し、活動費を報酬の中から捻出すること」そして「政治とカネに距離をおき、市民のみなさまを裏切らない活動をする事」。私達家族は政務調査費に領収書が不要であった22年前に、収支をきちんと精算し自主的に返納。議会に影響を与えた自負があります。その後、泉佐野市市議会では領収書は必須となりました。また正道の会は議員給与20%削減を提言。議会の皆さまの賛同を得て実現しました。

どん底の財政難から変革してきた泉佐野市行政や議会(給与削減→定数削減など)は客観的に見て、不正や使途不明が問題になる他議会と違います。市政の可能性を信じて皆さまの願いを託してくださいませんか？

市民の声がもっと反映されるように、泉佐野から小さなきっかけをつくりたい。

「小選挙区の公認権」「政党交付金(年間300億円、国民一人あたり300円)や企業団体献金を原資として各議員や地区への活動費の配分」政権や党の中央が強くなるシステムです。さらに不祥事や問題があっても国民の声も届かず何も変わりません。私は市町村だけではどうしても解決できない根本的な問題を、無党派だからこそ党派の枠組みをこえ国や府に投げかけ、変革のきっかけをつくる役割があると信じています。またそう信じられるのは、この泉佐野市の市長・職員・議会の皆さま方の努力や活動を、父の政策編集者としてそして市民目線で見えてきたからです。

長い苦難を経た泉佐野、一人一人の市民の皆さまが日々幸せであるため「実を結ぶ改革」が必要だと思えます。

正道の会がこれまでにやりこった実績

日々このまちで暮らす市民が幸せであるために実現してきました。

土台づくり 財政改革への取り組み

- [収入の増加]
 - ・12年間で112億円の税増収に貢献
たばこ税増収を田尻町から移管する為に貢献。(下記参照) 小中学校校舎の耐震化・建替の原資に寄与。
- [支出の削減]
 - ・公共事業入札制度改革の実現(議会で追求し、実現)
 - ・自ら議員給与20%削減を決議し実現(議会の賛同を得ました)
- [府への要求]
 - ・土丸栄線拡幅計画を復活、実現(旧26号線～魚市場まで)府計画の見直しを訴え、道路幅の縮小など代替案を府市に提案。災害時の防災交通対策を！

具体的展開 泉佐野市の課題解決を実現

- ・小学校プール設置による年間プール授業の倍増、実現。こざくら幼稚園売却阻止。国の学習指導要領・府内プール設置率を根拠に(第二小と佐野台小に設置。全市小学生での共用政策が採択されました)
- ・土丸栄線拡幅の着工開始。次のステージに！商業活性化を提言。商店街空き家対策の実現。
- ・笠松末広線の拡幅、実現。市内一の危険箇所を地域のみなさまのご協力で低予算で一部拡幅。交付金の研究を報告、本年16m幅に決定。
- ・公営合葬式墓地の建設、実現。シニアの方々の次世代への思いをつなげ実現。
- ・未婚シングルマザー寡婦控除みなし適用。
- ・子ども医療費助成を中学まで拡大、実現。特に市単費による通院費拡大の要求に尽力

土台をもとに具体的に実現

12年間で112億円の税増収に貢献！財政破綻寸前の泉佐野財政に貢献！
平成19年正道の会(前代表中村哲夫)は、戎谷満博元議員と田尻町職員さまとともに、税法改正により田尻町から府に移管されるたばこ税増収を泉佐野行政につなげました。結果今日まで12年間112億円(留保財源28億)の増収。小中学校校舎の新築及び耐震化の原資に寄与しました。

私中村慎作は、正道の会の政策編集者として、教育・安心安全・まちの活性化のハード投資の推進に関わりました！そして今後正道の会は市民のみなさまの思いを胸に、ソフト面(人材への投資。人財を育成)の政策を提言推進します。また、市民の為の政策を泉佐野で実現し、党略やしごらみに左右されない強みを活かし、国、府にも市民の願いを訴えて参ります。

正道の会が引き続き、泉佐野市で進めたい「幸せづくり」を5つの視点でお伝えします！

教育の質を高め、子どもたちが輝く泉佐野市に。子どもたちの今と未来の幸せづくり！ 裏面で詳しく紹介！

教育そのものの質を上げるソフトへの投資、貧困連鎖への対策やヤングケアラーの手助けなど、子ども達の今と未来のために提言し、全力で取り組みます。

海や世界の玄関口・関西空港。泉佐野の強みを生かして地元経済を元気に！市民がうるおう幸せづくり！

目指せ日本のマルセイユ！ 漁業や農業、飲食店、商店、小規模事業者が泉佐野市の資源を活かし、夢を持って事業を育てていける環境づくりを全力でサポートします。

若者・女性・シニア・子どもと泉佐野の地域資源をつないで、にぎわいと生きがいの幸せづくり！

伝統と創造！泉佐野の資源を活かして子どもから大人まで自分のまちを楽しみ、活躍できる環境やにぎわいづくり、生きがいとイノベーションを生み出す後押しをします。

「泉佐野が大好き！」市民の想いをつなげて広げる仕組みで幸せづくり

大人から子どもへ、このまちの強みや楽しさを伝え、市民の想いをつなぐ三世代交流や地域活動(自治会・NPO等)の担い手へのサポート機能強化を提言します。

互いに思いやり安心して暮らせる泉佐野に！「共助」や「避難支援が必要な方」を支える防災幸せづくり！

命を守り合う防災、高齢化が進む地域での防災対策ほか、互いに思いやり安心して暮らせる泉佐野を育てる本気の政策を提言します。

政策や幸せづくりの詳細はHPで <https://sano-seidou.net/>

〒598-0012 泉佐野市高松東1丁目4番22号
TEL ● 072-463-0310 FAX ● 072-463-0430 Mail: info@sano-seidou.net

ホームページをご覧ください。

これまで実現したハードを活かし市民の幸せ・ソフトの政策を!! (一部を裏面でご紹介)

中村 しんさく



「シンサク」と呼んでください！

これまでに
行ってきた
地域の仕事など

- 高松東町内会 副会長(現在)
- 春日ふるさと広場 管理人(現在)(地域間交流・三世代交流を目的に私費で整備)
- 泉佐野市商工会議所青年部 副会長
- 高松町こども育成会 会長
- 北浜水辺協議会 理事(佐野浦と船場をつなげる)
- 一般社団法人日本PMI(プロジェクトマネジメント協会) PM創生研究会所属(市民の皆さまの強みを活かすマネジメントを研究しています)



今よりもっと「泉佐野市に住みたい!」「泉佐野市に住んでいて良かった!」と思えるまちに! 子どもも、現役世代も、高齢者も、市民が日々幸せに暮らせる泉佐野に! 全力で進めます!

おもて面の「5つの視点での幸せづくり」のうち、「教育の質を高め、子どもたちが輝く泉佐野市に。子どもたちの今と未来の幸せづくり!」をピックアップ。

「市民みなさまが輝くまち」に!!幸せづくりサイクルの好循環は住みたいまち泉佐野をつくります!

- ◆ 私たちの未来を支える子どもたち.. 厳しく困難な社会を仲間と乗り越え、幸せになって欲しいと願います。そんな子どもたちが学び育つ泉佐野は、子どもたちが輝くまちとなっているでしょうか。また市民のみなさまの幸せづくりのサイクルを循環させるためにも、その原動力となる子どもへの投資を、まずは教育の面から推進していきたいと考えています。
- ◆ 公立小中学校の教育の質は全国一律ではありません。大阪府財政による一人当りの教育予算(消費的支出・主に教師人件費に対する経費)は全国最低レベル。泉佐野市でも公立中学の教育環境に多大な不安を感じ、私立に通わせたい、塾にいかなければ、という保護者の声が年々増えています。
- ◆ 「教育移住」という言葉があるほど、教育の質は「住むまちを選ぶ」重要な視点です。教育の質を高めることで子どもたちへの幸せにつながり、若者や現役世代が集まり、過疎化を抑え市民税・固定資産税の税収UPにもつながります。また年金(国)や介護保険(市)は、その時代その時代の現役世代が担っています。
- ◆ 正道の会は子どもや現役世代だけを優遇したい訳ではなく、全世代の方の、支援が必要な弱い立場の方の、幸せにつながる為、このサイクルで市民の皆さまを一つにつなげる活動に挑戦していきます。

正道の会は実現したハードを活かし、市民が輝くソフトの政策を推進し幸せをカタチにしていきます!!

●教育政策編 これから本番!!

正道の会は企業誘致によって12年間で112億円の税増収(裏面参照)を実現し、市町村の役割である小中学校の耐震化やプール建設などハード整備に貢献しました。これから必要なのは教育の質を上げるソフト面の充実です! 子どもが達が輝き、全市民が幸せになる泉佐野市。そのために学びの質を上げる政策に全力で取り組みます!

学びの質を上げるための政策 その①

公立学校でしっかり学べる環境づくりを全力で推進

- ◆ 子どもの学び向上につながる教育予算および非正規や兼務教員数の見直しを責任者である府に提言、交渉していきます。公立小中学校のレベルを底上げし、教育格差に取り組みます。

学校教育だけでなく、地域での学びや楽しみ、人とのつながりを通じて子どもたちの生きる力を育みます

- ◆ 正道の会が力を注いだ土丸栄線(16m幅で旧26号と魚市場まで)が実を結びます。山と海の地域資源がひとつの道でつながり地域にさらなる賑わいが生まれます。子どもたちに多様な知見を与え「生きる力」を育む政策を推進します。
- ◆ 世代間交流は、子ども達に社会性や生きる知恵を与え、郷土の歴史・文化等が伝承される機会にもなります。自分たちの住むまちを「ふるさと」として愛着や誇りを持つ心を育み、地域で子どもを見守り育てる環境、絆づくりの政策を推進します。

●他にもこんな政策!!

泉佐野市民が輝く舞台をつくる。道路整備・旧市街・山間部など過疎化、高齢化が進む地域の整備など

危険道路笠松末広線(市場・葵町・高松四町・大西・笠松とりんくうをつなぐ)
正道の会は、地権者のご厚意をつなぎ低予算で対面通行を実現。
さらに「危険箇所拡幅に交付金を活用する為の対策」を市に提言。拡幅決定!

- ◆ 「笠松末広線の未整備区間の事業実施」が令和4年度の市政方針に盛り込まれ16メートル幅の拡幅が決定しました。
- ◆ 通学路でもある危険道路の交通安全対策、被災時のりんくう医療センターへの経路が改善され、基幹道路であり市内随一の危険道路の安全対策が実を結びます。

約70年動かなかった土丸栄線(旧26号線→魚市場)拡幅。
正道の会は大阪府へ訴え続け、実現施策を市に提言。
そしてついに道路拡幅令和8年度完成予定!

- ◆ 高齢者の多い旧市街地の交通機能、防災対策が改善。商店街の空き家対策も訴え過疎の抑制につながります。
- ◆ 泉佐野市内全域の地域資源と地元産業をつなげ活かすことで、魅力あふれるまちづくりが前進します。

安心して学ぶためのサポート政策

子どもの権利・学びを守る取り組みを

- ◆ 本来大人が担うべき役割を子どもが担うヤングケアラーは、子ども自身も周りも気づかず顕在化しにくい問題です。支援の手をしっかりと子どもに届けるための対策を提言します。

小学校プール実現! 次は公立小中学校のレベルアップへ

市内小学校にプールがなく水泳授業は年3回程度。正道の会はその現状が「卒業までに続けて長く泳ぐ」という文科省の指導要領には則せず、府内小学校プール設置率94%から考えても、いかに義務教育において不平等な状況であるかを強く市に訴求。

まずは2校のプール設置により全小学校で共用する政策を実現させました。
次に水泳授業数の増加を目的に大阪府(教員配置・人件費支出は府が所管)の教育実態を国の教育実態調査・教育費調査をもとに他府県と比較、精査し、授業数を増やせない様々な要因は現場(学校)にあるのではなく、府の公立小中高等学校への財政支出等、政治としてやるべき事があると痛感。
市には独自の加配対策を、所管である府政や国政には根本的な改善を強く求めます。
(現在、正道の会は文科省に対し実態調査の内容や評価基準の改善を求めています)

日本遺産土丸大木地区の通勤通学対策など交通空白地の問題改善を研究し、
議会で強く要望してきました。
改善施策を高齢者の交通サポート事業にも水平展開します!

- ◆ 日本遺産「土丸大木地区」も景観を守る後継者が流出。「地域を守ることが風景や文化財を守る事」を議会で強く要望。今までの研究や取り組みを、高齢者の移動手段や交通空白地の問題解決、コミュニティーバスの運営改善にもつなげます。

中村しんさくの政策を応援して頂けませんか?



こちらからも
ご登録いただけます

正道の会事務局

〒598-0012 泉佐野市高松東1丁目4番22号

TEL ● 072-463-0310

FAX ● 072-463-0430

Mail: info@sano-seidou.net

